

JA全農えひめ情報

おひらけ

2024

8

Aug.

Sep.

9

特集 「農機事業一体運営」の
状況について



全農

JA全農えひめ



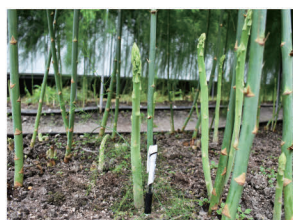
▲アスパラガスの収穫風景。シートとコンテナを備えた収穫台車に座り、低い目線で収穫しながらハウス内の作業道を移動する



▲アスパラガスのハウス、全11棟



▲ピーマン。今年はでっかく育ったよ



▲まっすぐ育ったアスパラガス。横のボールペンとの比較でその大きさは一目瞭然

アスパラガス、ピーマンの栽培 (JA周桑)

西条市周桑地区は県内最大のアスパラガス産地です。就農5年目、代々農家の首藤聖樹さん（25歳）にとって農業は、「手伝わないうけないしんどいこと」でした。一変したのは、高校時代に栽培から売上金を得るまでの一貫した米作り体験です。とても楽しく、やりがいを感じるものだったのです。東京の日本農業経営大学校へ進学、全国の先進的な農園でインターンシップなどの経験を積み、いざ、父から経営を継ぐアスパラガス20aと新規のピーマン10aの栽培へ。ピーマンは植付け2ヶ月で枯れ3年間は病気続き、知識は後追いとなり、アスパラガスを守るのが精一杯です。そんな中、生産者部会や先輩農家の知恵を借り、昨年やっとピーマンの収穫にこぎつきます。振り返ると辛苦も救いの手も、まるごといい経験となりました。

おいしいアスパラガスの秘訣は土づくりです。「育成ゲームの感覚で柔軟な発想をもって新しいことに挑戦し高品質を！」と、コーヒーカスを使った堆肥を試し、土壌診断は良好。雑草は地温を下げ、土中の微生物の活動にも良さそうだと実験進行中です。さらに「農業は仕事と趣味をカスタマイズできる良さがある」と、閑散期の冬場は大好きなアニメ関係の旅行、ライブで趣味を満喫しています。将来は自動収穫ロボットによるスマート農業、野菜で人を呼び込むイベント、高付加価値の野菜栽培を極めて余暇を趣味に投じる余生も目論んでいます。一つの株で30年の収穫が可能なアスパラガス、首藤さんの30年後もまた楽しみです。

めぐり〜ど

2024年8 - 9月号

CONTENTS

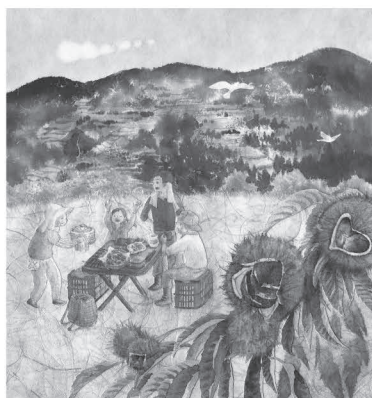
全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地
づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者
にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組
みます。

今月の表紙



暑い中にも季節は移ろい、秋は高い山の上の方から静かに降りてきています。秋の味覚の代表選手は、さわると痛っ！頑強なイガに守られて、鋼鉄のような皮に包まれて、たどりつくまでの作業がとっても大変、栗の実です。その甲斐あって大玉でツヤツヤのきれいな姿が顔を出します。やさしい甘さとほっくりとした食感はたまりません。幸せの時間が口いっぱいに広がっていきます。

●表紙：栗
米田 こよ実（イラストレーター）

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景 一応援！農業人 Vol.241

アスパラガス、ピーマンの栽培（JA周桑）

〈特集〉

「農機事業一体運営」の 状況について

THE・ねっとわーく

ふるさと ESSAY VOL.309

僕らはみんな幼少期の産物

中岡 りょういちさん

TOPIC NEWS

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉なす

JA全農えひめ

ホームページ

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆株式会社 えひめ飲料
<https://www.ehime-inryo.co.jp>

◆株式会社 えひめアイパックス
<http://ai-pax.jp/>

◆株式会社 えひめフレッシュフーズ
<https://fresh-ranran.jp/>

◆株式会社 ひめライス
<https://www.himerice.jp/>

◆株式会社 えひめエネルギー
<https://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆株式会社 えひめ物流
<https://www.jat-ehime.co.jp/>

「農機事業一体運営」の 状況について (愛媛農機事務所)



はじめに

各県はもとより、愛媛農機事務所でも「農機事業一体運営」に取り組んでいます。そのメリットは、

- ① 小売機能と卸機能の統合による購買力・推進力強化
- ② J A全農によるマネジメント強化と収支改善
- ③ 計画的な人材育成による技術力強化
- ④ J A全農が中心となり営農指導部門と連携が期待出来るからです。

愛媛農機事務所は、持続可能なJ Aグループ農機事業をめざし、しくみづくり、人づくり、収支改善・シェアアップを目指しています。

I 「農機事業一体運営」とは

① J AとJ A全農の垣根を取り払い、県域で一つの事業体として事業運営することであり、J Aの小売機能とJ A全農の卸機能を統合し、事業競争力を強化するものです。

② J AとJ A全農の農機事業に関わる施設・要員・在庫・システム等の運営・経営資源



共同購入コンバイン

愛媛においては協同事業方式を採用しています。

経営受委託方式…JAはJA全農へ事業を委託、JA全農はJAから事業を受託する方式です。

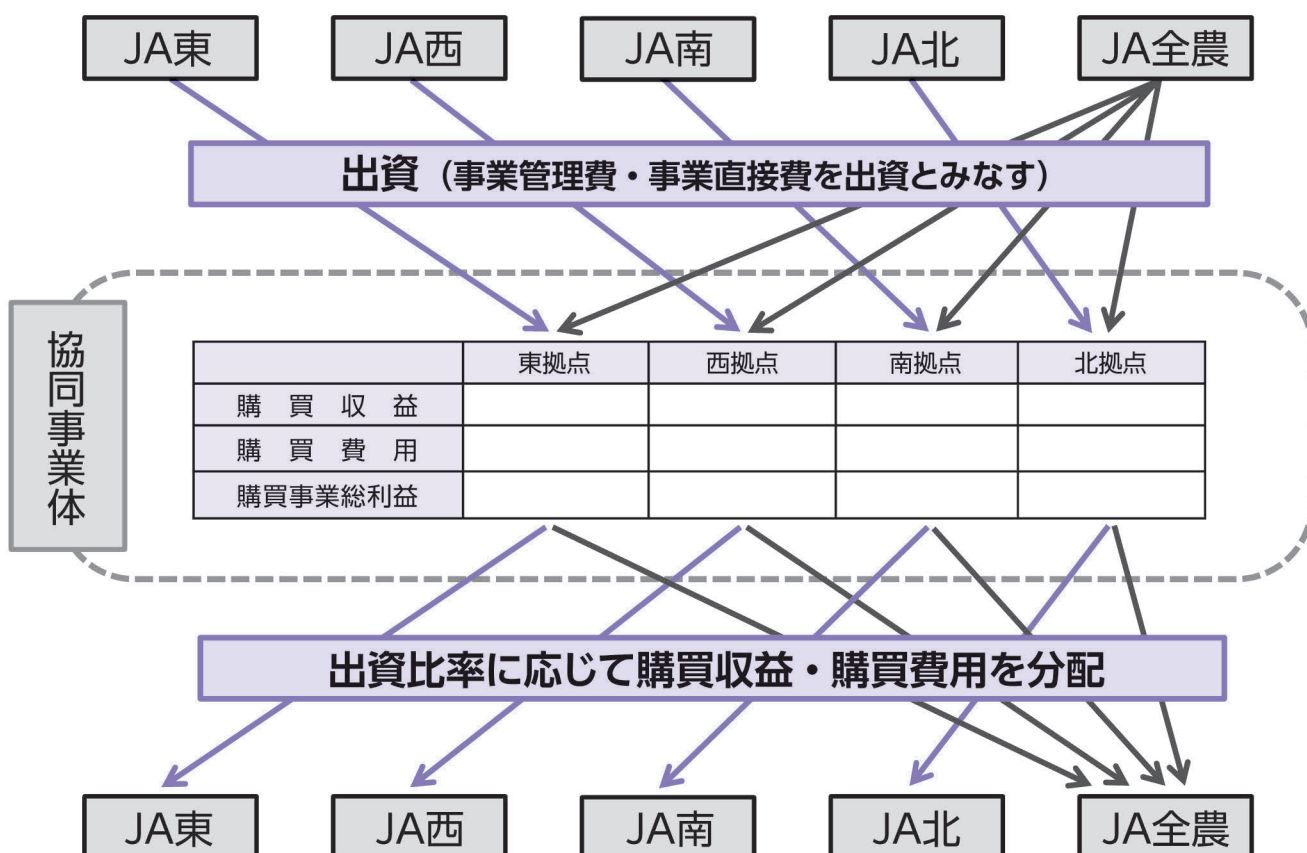
協同事業方式…JAとJA全農が「民法上の組合契約」を締結し協働で事業を運営する方式

Ⅱ 一体運営の事業方式

を県域に集約し有効活用するとともに、JA全農のマネジメントにより業務の統一化・一元化、情報の共有化をおこなっています。

③事業競争力強化（技術力、提案力、購買力、安定経営、コンプライアンス遵守等）をすすめる、組合員サービスの向上をめざします。

【協同事業体イメージ】



Ⅲ「農機事業一体運営」の 取り組み状況

取り組み状況①

令和6年4月現在、22都府県79JAが一体運営に取り組んでいます。

一体運営の拠点数全国合計…246拠点
担当者数全国合計…1,455名

〈令和4年度事業実績〉

一体運営の取扱高…全国合計で365億円

〈拠点別の収支〉

事業利益段階黒字…41JA

事業利益段階赤字…45JA

【農機一体運営年次別推移】

年 度	実 施 県	県累計	JA累計
平成17年度以前	茨城・長野・島根・岡山・広島・山口	6	18
平成18年度	岩手・栃木・東京・兵庫	10	32
平成19年度	滋賀	11	42
平成20年度	群馬・神奈川・愛知・京都・高知	16	66
平成23年度	福岡	17	77
平成27年度	(島根県1JAへ)	17	72
平成29年度	千葉	18	73
平成30年度	(高知県1JAへ)	18	74
令和元年度	徳島 (山口県1JAへ)	19	69
令和2年度		19	74
令和3年度	福島・石川・愛媛	22	84
令和4年度		22	86
令和5年度	鳥取 (令和5年7月)	22	82
令和6年度		22	79

取り組み状況② 【全国の一体運営 (令和6年4月)】

県	農機取扱JA数	一 体 運 営			
		JA数	J A 名	拠点数	担当者
岩手 (協)	6	3	いわて中央 いわて花巻 江刺 計	2 5 1 8	10 26 8 44
福島 (協)	5	1	福島さくら	2	16
茨城 (経・協)	18	4	稲敷 (経) 常陸 (協) 新ひたち野 (経) 水郷つくば (経) 計	1 5 1 3 10	7 62 5 14 88
栃木 (経)	10	6	はが野 しもつけ なす南 おやま しおのや うつのみや 計	2 1 1 1 1 4 10	29 32 15 21 21 32 150
群馬 (協)	13	12	佐波伊勢崎 たかさき はぐくみ 碓氷安中 甘楽富岡 北群渋川 あがつま 新田みどり 太田市 前橋市 邑楽館林 たのふじ 計	3 2 1 1 3 2 1 2 1 3 4 1 24	12 6 4 3 10 7 8 10 5 7 25 8 105
千葉 (協)	16	1	ちば東葛	1	5
東京 (経)	4	1	八王子	1	10
神奈川 (経)	12	2	かながわ西湘 横浜 計	1 2 3	8 15 23
長野 (協)	15	3	グリーン長野 ながの 信州諏訪 計	6 11 4 21	26 55 20 101
石川 (協)	15	2	能登 内浦町 計	4 4 4	27 27
愛知 (協)	15	2	あいち海部 西三河 計	1 1 2	4 2 6
滋賀 (経)	8	7	こうか グリーン近江 滋賀蒲生町 東びわこ レーク伊吹 北びわこ レーク滋賀 計	1 1 1 1 1 1 5 47	13 14 14 5 10 5 47
京都 (経)	4	2	京都 京都にのくに 計	7 1 8	60 12 72
兵庫 (協)	11	8	兵庫六甲 兵庫みらい 兵庫南 丹波ひかみ 丹波ささやま 淡路日の出 みのり たじま 計	3 2 1 1 1 1 4 1 14	25 17 9 6 9 8 24 16 114
鳥取 (経)	3	1	鳥取中央	4	38
島根 (経)	1	1	しまね	19	119
広島 (協)	5	4	広島市 ひろしま (広島中央・広島北部・庄原地区) 福山市 全農アグリポート広島(1) 計	3 11 4 5 23	19 62 18 41 140
山口 (協)	1	1	山口県	27	113
徳島 (協)	5	3	徳島市 東とくしま 徳島県 計	2 3 11 16	9 7 25 41
愛媛 (協)	11	6	うま えひめ未来 おちいまばり 今治立花 松山市 愛媛たいき 計	2 2 2 1 1 2 10	10 6 13 1 4 8 42
高知 (協)	2	1	高知県	11	56
福岡 (協)	20	8	筑前あさくら にじ みい くるめ 筑後北部広域(2) 福岡大城 ふくおか八女 柳川 みなみ筑後 筑後南部広域(3) 計	4 1 1 1 2 1 7 1 3 2 23	13 4 5 6 15 3 19 2 11 20 98

(経)：経営受委託方式 (協)：協同事業方式

取り組み状況③

ア J A全農推進本部のマネジメントによる

業務・運営の統一化、標準化、一元化

①農機センター長会議の定例化（毎月）

②事業目標管理、売価管理による品目ごとの粗利益管理強化

③業務手順、職務権限等、運営ルールの整備

④一体運営システムによる業務の標準化

⑤在庫の一元管理、システム化による不稼働部品および棚卸差損の削減

⑥「固定費カバー率70%以上」を意識した目標設定

※部品と修理サービスの粗収益で事業管理費をカバー

イ 職員との一体感の醸成・人材育成

①拠点（J A）と推進本部（J A全農）の人事交流

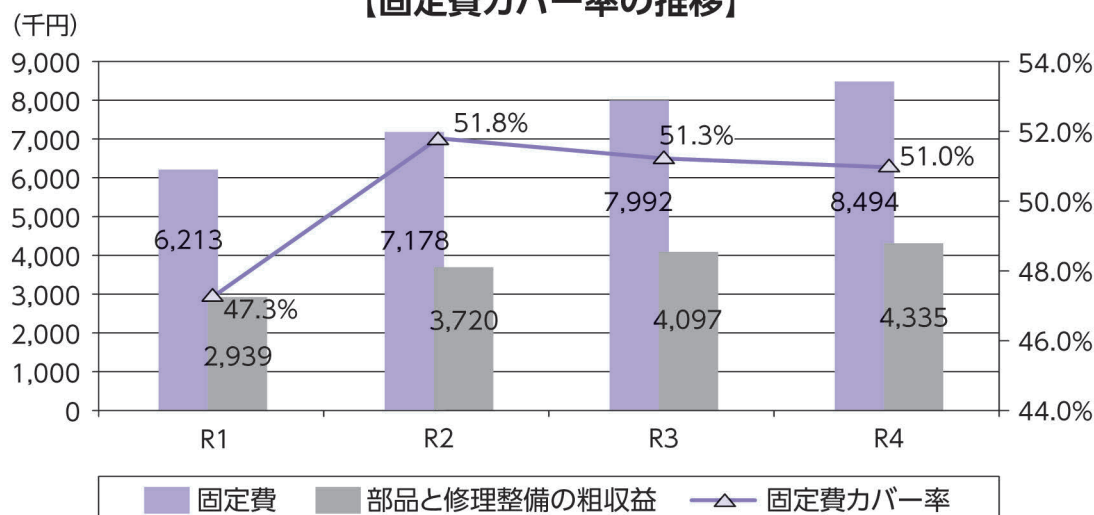
②職員面談、J A役員との定期的な協議

③J Aグループ農機検定を活用した経験年数別目標設定と計画的な技術講習会受講

④重整備センターを活用した長期整備研修

⑤推進大会の開催

【固定費カバー率の推移】



ウ コンプライアンス体制の整備

①一斉事業点検や研修等によるコンプライアンス意識向上と防止策の徹底

②労働災害防止重点月間（7月）、現金取扱リスク防止重点月間（11月）の取り組み



J Aおちいまばり 陸地部農機センター

Ⅳ 愛媛における一体運営の状況

Ⅰ 愛媛における一体運営について

令和3年7月よりＪＡうま・ＪＡえひめ未来・ＪＡおちいまばり・ＪＡ今治立花の４ＪＡで開始しました。

令和5年1月よりＪＡ松山市が参画、令和6年1月よりＪＡ愛媛たいきが参画し、現在は6ＪＡと一体運営をおこなっています。

拠点数は令和6年1月時点でサブセンターを含め10カ所になりました。

また、令和7年1月からはＪＡえひめ南の参画が決定しており、県内ＪＡの6割が一体化となります。

Ⅱ 一体運営拠点の収支状況

令和5年度の共管配布前事業利益はマイナス収支でしたが、発足当時に比べ、修理単価の適正化による収支改善、固定費カバー率の向上により徐々にではありますが全体の収支が改善されています。

加えて、農業機械全体の供給実績低迷・相

次ぐ実機の値上げによる買い控えなど不安材料が多いなか、拠点長以下各担当は、業務改善を実施しながら推進しています。

Ⅲ 今後の一体運営事業の課題

① 要員の不足

一番の懸念材料となっているのが要員不足の問題です。

農機部門の要員は専門知識を必要とするため、定年退職や中途退職によって年々要員が減少しています。

ＪＡ全農では各方面への人材確保に向けて帆走しています。

② 拠点別の収支改善

一体運営組成後、これまでも収支の改善は最重要事項として取り組んでいます。収支均衡に向けてＪＡ関係部署を交え、改善に取り組んでいます。

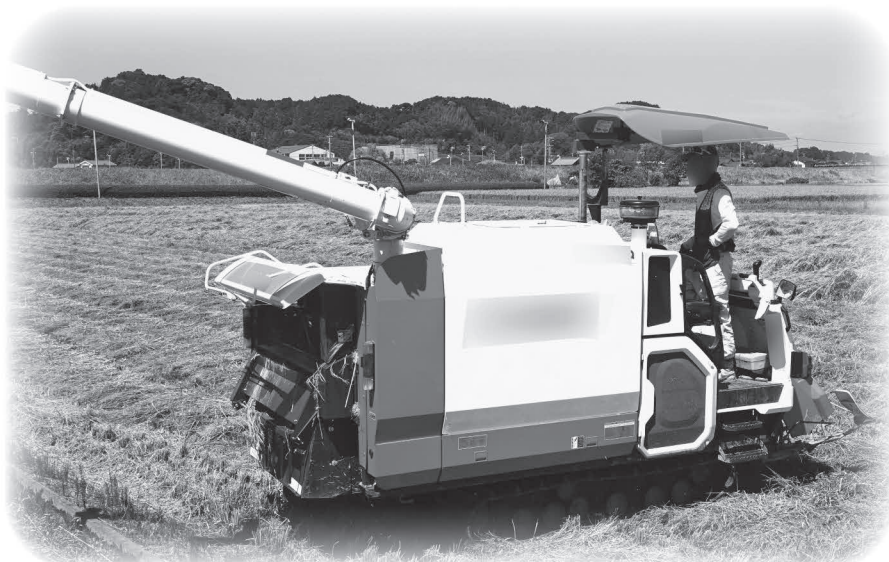
③ 未参画ＪＡへの推進

先述でＪＡえひめ南の参画以降、(株)ＪＡ東宇和サービスが参画の前段協議に入っていますが、県内ＪＡ化を見据え、県内全ＪＡに対し一体運営の参画に向けた推進を継続しています。



最後に

事故防止には、一人一人が高い安全意識を持って作業を行うことが重要です。また、毎日暑い日が続いていますので、細心の注意を払って行動し、熱中症にもご注意ください。





THE

ねつとわーく

「会員代表者会を開き
令和5年度事業を報告」

管理部

J A全農えひめは、
6月28日、松山市の
J A愛媛で会員代表
者会を開き、令和5

年度の事業報告を行いました。

■令和5年度事業報告

県本部の取扱高(総供給販売高)は、

全体で計画比94%の68,718百万
円となりました。

各部別の概況は次の通りです。

【営農畜産振興部】素牛の単価安に
より、取扱高が減少。

【園芸農産部】買取米の販売数量は

増加しているものの、温州みかん・
伊予柑などの柑橘や果菜類・洋菜類
などの野菜の販売数量減少により、
部全体では計画を下回った。

【生産資材部】肥料、農薬、農機等
の前年度値上り需要の反動や、柑橘
の出荷量減少に伴う段ボールの製造
数量減少により、取扱高が減少。

【生活部】ふれっしゅ広場・J Aタ
ウンの販売増加、石油の単価高等に
より計画を上回った。

また、県本部グループ7社の売
上高合計は、計画比108%の
386億円となったこと等を報告し
ました。

また、同日に各連合会表彰式が行
われました。

J A全農えひめ関係の受賞者は左
表のとおりです(敬称略)。

【表1】J A全農えひめ 令和5年度取扱高実績(事業分量)
(単位:百万円)

部 門	計 画	実 績
営 農 畜 産 振 興 部	818	788
園 芸 農 産 部	46,769	43,336
生 産 資 材 部	13,260	12,200
生 活 部	11,999	12,394
合 計	72,846	68,718

【表2】J A全農えひめグループ会社 令和5年度取扱高実績
(単位:百万円)

会 社 名	計 画	実 績
(株) え ひ め 飲 料	14,966	18,100
J Aえひめアイパックス(株)	3,602	3,564
J Aえひめフレッシュフーズ(株)	4,270	4,273
(株) ひ め ラ イ ス	2,792	3,383
J Aえひめエネルギー(株)	2,736	2,606
(株) え ひ め フ ー ズ	445	407
J A え ひ め 物 流 (株)	6,852	6,297
合 計	35,661	38,630

【表1】【表2】百万円未満は四捨五入のため合計値に差異が生じます

【表3】令和5年度 全農愛媛県本部表彰
【J A表彰】

えひめ未来農業協同組合	周桑農業協同組合
愛媛たいき農業協同組合	西宇和農業協同組合
えひめ南農業協同組合	

【特別功労表彰】 ※カッコ内はJ A名

亀岡 功生(えひめ中央)	田中 重喜(えひめ中央)
武田 修治(愛媛たいき)	青井斗志男(愛媛たいき)

【優良職員表彰】 ※カッコ内はJ A名

高橋 和寿(えひめ未来)	塩見 仁士(おちいまばり)
織田 隆(おちいまばり)	林 諭(えひめ中央)
日野 昭憲(えひめ中央)	松本 喜吉(愛媛たいき)
菅原 長之(にしうわ)	清水口 学(ひがしうわ)
山本 茂(えひめ南)	大谷 直哉(えひめ南)
小川 幸治(えひめ南)	

県内JA新トップ紹介

JAえひめ未来

おか べ なるひこ
岡部 成彦

代表理事組合長（令和6年6月28日就任）



■略歴

- ・昭和60年 新居浜市農業協同組合 入組
- ・平成24年 同組合 上部西支所長
- ・平成26年 同組合 経済事業部長
- ・平成28年 同組合 総務部長
- ・平成29年 同組合 コンプライアンス統括室長
同組合 参事
- ・令和元年 同組合 参事 兼 常勤理事
- ・令和2年 えひめ未来農業協同組合 参事 兼 常勤理事
- ・令和3年 同組合 営農経済担当常務理事
- ・令和6年 同組合 代表理事組合長

JA愛媛たいき

た ぶち ひろゆき
田淵 博幸

代表理事組合長（令和6年6月27日就任）



■略歴

- ・昭和58年 大洲市農業協同組合 入組
- ・平成17年 愛媛たいき農業協同組合 共済部長
- ・平成21年 同組合 参事
同組合 常務理事
- ・平成25年 同組合 代表理事常務
- ・平成27年 同組合 代表理事専務
- ・令和6年 同組合 代表理事組合長

「2024-2025 JA全農1 day 仕事研究」を開催!!

愛媛県本部 開催日程（予定）

場所：JA愛媛

〈基礎編〉

1	令和6年9月20日（金）13：00～17：00
2	令和6年12月21日（土）9：00～12：00
3	令和7年2月21日（金）9：00～12：00

〈応用編〉

1	令和6年12月21日（土）13：00～17：00
2	令和7年2月21日（金）13：00～17：00

※応募者多数の場合は書類選考を実施します。

また、応用編の参加は基礎編の受講が必須です。

※この日程以外でも全国各地で対面及びwebにて開催予定です。

※やむを得ない事情により日程の変更や中止となる場合がありますので、ご了承ください。

■応募方法

JA全農ホームページからプレエントリーを行い、参加希望日と地域、エントリー情報を登録してください。

JA全農えひめは、大学・大学院に在学中の方を対象に「2024-2025 JA全農1 day 仕事研究」をJA愛媛で開催します。
この取り組みは、学生に本会業務の理解を深め、就職活動に役立ててもらおうと、「基礎編（ビジネスマップ作成ワーク）」と「応用編（購買・販売事業体感ワーク）」に分けて開催しています。
直近では「基礎編」を9月20日（金）に実施予定です。応募方法は次の通りです。



↑エントリーページ
はコチラ

グループ会社 常勤役員の改選について

J A全農えひめのグループ会社7社は、6月14日に株主総会・取締役会を開き、新役員体制を決めました。役員改選の内容は下記のとおりです（カッコ内は前職）。

(株)えひめ飲料（6月14日付）

- ☐代表取締役社長（代表取締役専務）
芝 亮介
【退任】道上 久司
- ☐代表取締役専務（取締役営業本部長）
氏原 教次
- ☐取締役常務（全農本所 法務・リスク管理
統括部グループ監査役室 専任課長）
松浦 勇人
【退任】中矢 琢
- ☐常勤監査役（J Aえひめアイパックス(株)
専務取締役）
塩崎 洋章
【退任】野澤 幸市

J Aえひめフレッシュフーズ(株) （6月14日付）

- ☐代表取締役社長（参与）
井上 寛
【退任】竹村 靖
- ☐常務取締役（参与）
矢野 貴之
【退任】宇都宮 誠

J Aえひめエネルギー(株) （6月14日付）

- ☐代表取締役社長（参与）
得能 祐治
【退任】石川 忠司

J Aえひめ物流(株)（6月14日付）

- ☐代表取締役社長(株)えひめ飲料 取締役常務
中矢 琢
【退任】高井 雄二
- ☐専務取締役（常務取締役）
白石 啓司
- ☐常務取締役（取締役営業部長）
矢野 喜好

J Aえひめアイパックス(株) （6月14日付）

- ☐代表取締役社長（J Aえひめフレッシュ
フーズ(株) 代表取締役社長）
竹村 靖
【退任】中原 一憲
- ☐専務取締役（常務取締役）
嶋田 浩志
【退任】塩崎 洋章
- ☐常務取締役（営業本部長）
猪股 徹

(株)ひめライス（6月14日付）

- ☐代表取締役社長（常務取締役）
武田 司
【退任】松田 一人
- ☐常務取締役（管理本部長）
中山 祐二

(株)えひめフーズ（6月14日付）

- ☐代表取締役社長（参与）
長山 峰久
【退任】平岡 正樹

※ J A全農えひめグループ各社の令和6年度役員体制（非常勤含む一覧表）については、10-11月号で掲載予定です。

令和6年度 新規採用職員紹介

今年度、6名の仲間が新たに加わりました♪
ＪＡ全農えひめに新たな風を吹き込むフレッシュな6名を紹介します♪



後列左から 高橋さん、山田さん、長坂さん
前列左から 吉本さん、高山さん、西田さん

所属部署
名前

- ①趣味・特技
- ②好きな食べ物
- ③今後の抱負

管理部 総務課

たかやま あいな
高山 愛菜

- ①愛犬と遊ぶこと
- ②鍋
- ③人事業務に関する知識を少しでも早く習得し、責任感を持って一生懸命頑張ります。

園芸農産部 野菜花卉課

たかはし まお
高橋 磨央

- ①ドライブ
- ②焼き肉
- ③ＪＡ・市場の方々と上手く連携を取り合いながら、愛媛野菜の生産復興、販売活動に取り組んでいきます。

生産資材部 肥料農薬課

にしだ りょうき
西田 稜貴

- ①釣り、サッカー観戦
- ②かんきつ(甘平が一番好きです)
- ③多くの調査に参加し、経験を重ねて、肥料の技術担当としてのスキルを高めていきます。

生産資材部 肥料農薬課

よしもと みく
吉本 光来

- ①自然観賞、旅行
- ②オクラ
- ③生産者、ＪＡの皆さんとの良好な関係を築くとともに責任と自覚をもって行動していきたいです。

耕種資材部 中四国広域農機事業所
愛媛農機事務所

ながさか しょうま
長坂 彰真

- ①サウナ、掃除
- ②麺類
- ③人脈を広げ、物事に興味をもち、知識をつけます。

生産資材部
段ボール工場製造課

やまだ りょうた
山田 遼太

- ①読書
- ②かんきつ
- ③一日も早く機械操作を習得出来るように頑張ります。

ふるさと ESSAY

Vol.309



僕らはみんな 幼少期の産物

17歳くらいまでに聞いた音楽は、人生に影響を与えると考えている。僕にとってそれは、キング・オブ・ポップこと「マイケル・ジャクソン」であり、幼稚園から帰ると、MV（ミュージックビデオ）で名演を見ては曲に合わせて踊り歌い、まるで自分がマイケルだと言いつけるほどに。そんな僕だけのマイケルが教えてくれたものは「追求」であり、負けず嫌いの性格も手伝って、とにかくマイケルに近づきたかった幼少期を過ごした。

その後、中学3年の頃にドラムに出会う。きっかけは文化祭のバンドの演奏。スティックを握った瞬間、何を叩けばどんな音が鳴り、何をすればリズムが生まれるのかを直感で理解できたことも手伝い、触発された心は、迷う

ことなく音楽の道へ進むことを決めた。誰にも期待されていないのに、絶対にプロになれると確信が持てた背景には、マイケルが教えてくれた「追求」があつたのかもしれない。根拠のない自信が僕を突き動かした結果、バンドはデビューを果たした。

何かをする時、ある程度の予測や道筋を考えるタイプと、描かず、もしくは描けずに進んでいくタイプがあるように思う。僕は後者になるわけだが、その道中には、越えるべき壁にもぶち当たり、自然な流れで予測もできるようになっていった。根拠のない自信は成熟し、形となって人生の外郭を構築していった。そんなバンドの生活は25年を迎え、年も42歳になった。ここで僕だけではなく、みんなのマイケル・

中岡 りょういち

RYOICHI NAKAOKA

■プロフィール■

1982年5月4日、愛媛県生まれ、松山市在住。愛媛県立伊予高等学校卒業。

高校2年の頃、ロックバンド「ジャバハリネット」を結成。2004年、日本ゴールドディスク大賞で「ニューアーティストオブ・ザ・イヤー」受賞。今年・2024年に結成25周年を迎える。

現在は、バンド活動と並行し、タレントやMC（番組進行者）として活躍。他、動画制作、CM・番組ナレーション業、等。

【出演番組】

テレビ愛媛「ふるさと絶賛バラエティー」

FM愛媛「旬感!えひめチュレ」、「10代徹底応援番組カモ☆れでい★Night!」、「ジャバハリネットのハリハリラジオ」

【その他】

アジנג（ルアーで鰻釣り）メーカー 「株式会社34（サーティフォー）」スペシャルアンバサダー

まさきオフィシャルサポーター（伊予郡松前町）

趣味は、歴史探究と料理、釣り。休日はあてもなくドライブし、ご当地の美味しいものを食べる。

座右の銘、なし。好きな言葉は、丁寧な暮らし。



▲暑い中、いつも被りものをして出迎えてくれるエコラプトマトの生産者さん(左)と、担当のJA愛媛たいきの職員さん(右)と

ジャクソンから教わった言葉を紹介したい。「世界で最高の教育とは、その道を極めた人の働く姿を見ることだ」とあって、幼少期の僕の選択は間違いないじゃなかったと思えるし、何なら僕の側にはたくさん先生のいることになる。なるほど、僕が農業の取材が好きな理由は学びがあるからかと納得のいくものである。農家歴50年以上の先生の話はいつだって面白い。そのシンプ

ルな構図に気がついた後、僕の「追求」は「探求」へと変貌を遂げたのである。ふと思う。「これから何ができるか」ではなく、「あと何ができるか」。重要なのはその使い分け。これは音楽に限った話ではなく、大きく言えば人生、身近なもので言えば食にも当てはまる。これからどんな美味しい料理を食べることができるのか。あと、何回くらい丁寧な食を心がけることができる



▲いいライブは、いい食材から生まれます！



▲取材後は関係者全員そろって笑顔。お世話になった蚕豆の生産者さん(左から3番目)は、仕事の気概を教えてくださいました

のか。万事健康あってこそそのもの。僕は肉も魚も野菜も新鮮で美味しいものが食べたい。地元の水で育った野菜が食べたいし、旬を感じ旬がもたらす豊かな暮らしは、心身ともに健康な身体作りに繋がると信じている。ここに探求心を働かせてみる。すると、見えてくるのは「生産者の顔」である。僕が出会う食材の数々は偶然出会ったのではなく、必然だと思っている。幼少期に学んだ食への敬意を今一度、思い出してみようと思う。

JA愛媛野菜生産者組織協議会 第49回通常総会

販売協力店でのフェアの実施、関係各所と連携したPR活動に取り組む！

愛媛県内10JA70部会(20品目)で組織するJA愛媛野菜生産者組織協議会は、6月20日、ウェルピア伊予で第49回通常総会を開き、5年度事業報告、6年度事業計画などが承認されました。

5年度は、生産面では生産基盤の強化、栽培技術の高位平準化に向けた取り組み、生産技術の向上と意欲の啓発、販売面ではえひめ野菜フェアを中心とした愛媛野菜のPR活動、食品メーカーとの連携によるPR活動などに取り組めました。

6年度は、「マーケットニーズを踏まえた生産振興支援対策の取り組みにより、愛媛野菜の生産基盤強化と持続性のある生産体制の構築に取り組む」「愛媛野菜の消費拡大およびファンづくりに向け、販売協力店におけるフェアの実施、対面型消費宣伝活動の拡充

および関係各所と連携した産地PR活動に取り組む」の2点を事業方針に決定し、引き続き生産面・販売面両方の活動を充実させる事となりました。

また、愛媛県東予地方局農林水産振興部の浅海英記氏による「野菜のIoT利用・大規模省力化生産技術の紹介」県内外の実証・導入事例」の講演を行いました。

総会では、愛媛県農産園芸功労知事表彰、共進会表彰状授与、感謝状贈呈、営農指導員表彰ならびに表彰状授与が行われました。

入賞者は次の通りです(敬称略・かつこ内はJA名)。

◆愛媛県農産園芸功労知事表彰▽「団体職員」伊藤津好 ◆野菜生産改善共進会入賞者「一寸蚕豆」▽県知事賞Ⅱ田窪英二(周桑)▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ武智二三四(えひめ中央)▽協議会会長賞Ⅱ



浅海英記氏の講演

佐山林壹(周桑)、藤崎茂(松山市)、西田仁美(えひめ中央「キャベツ」)▽県知事賞Ⅱ真鍋巡(うま)▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ林輝俊(松山市)▽協議会会長賞Ⅱ河村政幸(うま)「白ネギ」▽県知事賞Ⅱ渡部明弘(周桑)▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ農事組合法人北川(周桑)▽協議会会長賞Ⅱ弓達武明(松山市)、高須賀瑞夫(松山市)「メロン」▽県知事賞Ⅱ戸田公彦(周桑)

▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ武田昇一(愛媛たいき)▽協議会会長賞Ⅱ青野義則(周桑)、武田由美子(周桑)◆全農愛媛県本部長感謝状贈呈者Ⅱ西川哲太(周桑)、長岡誠一(愛媛たいき)◆生産振興支援要領営農指導員表彰▽最優秀賞Ⅱ小澤亮介(おちいまばり)▽優秀賞Ⅱ玉井みなみ(松山市)



愛媛県農産園芸功労知事表彰者の伊藤津好理事

第50回乾椎茸品評会

成高王洋さんが16年連続で最優秀賞

愛媛県椎茸同志会主催の第50回乾椎茸品評会が、5月24日、大洲市民会館で開かれ、成高王洋さん（JA愛媛たいき）が16年連続で最優秀賞（全農会長賞）を受賞しました。

品評会には、春子14点が出品され、入賞6点他が、6月6日の「第57回全農乾椎茸品評会」に出品されます。

その他の主な入賞者は次の皆さま



成高王洋さん

ん（敬称略・カッコ内はJA名）。

▽優秀賞Ⅱ高橋征敏（ひがしうわ）、河内遼一（愛媛たいき）▽1等賞Ⅱ矢野欣一（愛媛たいき）▽2等賞Ⅱ武田秋重（ひがしうわ）▽3等賞Ⅱ羽柴忠幸（愛媛たいき）

なお、6月6日、全農椎茸事業所入札場で開かれた全農椎茸品評会において、愛媛県より5名が入賞しました。入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJA名）。

▽林野庁長官賞Ⅱ（こうしん中葉中肉）成高王洋（愛媛たいき）、▽全農会長賞（こうしん中葉中肉）高橋征敏（ひがしうわ）、▽（一財）日本きのこセンター理事長賞Ⅱ（こうしん中葉中肉）河内遼一（愛媛たいき）、▽全農全和会長賞Ⅱ（こうしん中葉厚肉）矢野欣一（愛媛たいき）、（こうしん中葉中肉）大姫地利光（同）

愛媛県果樹同志会 第11回総会

赤松正月会長が再任！

愛媛県果樹同志会は、5月27日、JA愛媛で第11回総会を開き、会長に赤松正月さん（南予果樹同志会・再任）を選任しました。

令和6年度事業計画では、県、試験研究機関、農業団体等関係諸組織との密接な連携・協調のもと、現状の認識を把握し意識改革を図



（写真左から）平家副会長、赤松会長、西山副会長、小野瀬副会長

ることで合意しました。また、かんきつ・落葉果樹の高品質安定生産対策、安全・安心な果実生産体制の確立、生産基盤整備と経営改善、売れる商品作りとPR活動など基本課題の実現に取り組むことで合意しました。

令和6年度のその他の主な役員は次のとおり（敬称略・カッコ内は所属同志会）。

▽副会長Ⅱ平家誠人（西宇和青壮年同志会・再）、西山聡（えひめ中央果樹研究同志会・新）、小野瀬マサエ（JAしうわ女性部・新）▽監事Ⅱ長岡隆浩（南予果樹同志会・再）、岡本武（西宇和青壮年同志会・再）、西山美季（南予果樹同志会・新）、秋元孝子（えひめ中央女性果樹同志会・新）

愛媛県くり研究同志会令和6年度総会

安定生産で消費と販路拡大に努める

愛媛県くり研究同志会は、6月4日、JAえひめ中央中山支所で、第58回総会を開催しました。

開催にあたり、三ツ井会長が「農業生産資材の価格高騰など、農家にとって苦しい時ではありますが、同志会員には今後も県産くりの振興に努めてほしい」とあいさつ。

総会では、第1号議案の「令和5年度事業報告および収支決算について」以下、全議案について承認されました。なお、令和5年産くりのJA全農えひめ扱いの販売実績は、数量317トン（前年比131%）、kg単価1、

117円（同99%）でした。

総会後は、愛媛県果樹研究センターの清水康雄センター長が「くりの低樹高栽培の取組み事例と効果について」と題して講演を行いました。

「フレッシュ市部会」総会

地産地消の推進・地域貢献に向けてチャレンジ！

6月19日、「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」の直売所出荷者で組織する「フレッシュ市部会」が第27回の総会を開きました。令和5年度の活動報告・会計報告を行い、令和6年度活動計画・予算計画など提案した全議案が承認されました。

令和6年度活動方針では、魅力ある商品づくり、豊富な品ぞろえにより消費者に支持される売り場づくりを目指すほか、総合的な食品安全体制を確立していくことなどを確認しました。「近くて便利な地域コミュニティ」として、地域に密着した直売所を目指していきます。

あいさつをするフレッシュ市部会東村雅則会長

令和6年度えひめ愛フード推進機構総会

「愛媛ブランドづくり」の深化、「売れる仕組みづくり」の取り組みを確認

愛媛県など行政団体・農林水産団体や商工・流通団体などで組織するえひめ愛フード推進機構（会長…中村時広愛媛県知事）の令和6年度総会が、6月11日松山市で開かれました。

令和7年3月に本格販売を控える「紅プリセンス」について、JA全農えひめと連携して、新発売発表会や販促イベントなどを通して、「紅まどんな」「甘平」とのリリース販売に取り組みます。また、かんきつファンづくりイベントの開催や欧州向け河内晩柑の大ロット輸送（海上輸送）の実現を目指した基盤強化の取り組みなど、実需の創出を目指した、「売れる仕組みづくり」と「販路拡大」に引き続き取り組んでいくことを決定しました。

会長あいさつをする中村知事

愛媛県肉牛生産者協議会令和6年度総会 生産基盤維持と販路拡大を！

愛媛県肉牛生産者協議会は、6月20日、JA愛媛で令和6年度総会を開き、令和6年度事業計画を決めました。

令和6年度事業方針では、後継者育成による県内肉牛生産基盤の維持と飼養管理技術の向上に取り組みます。また、防疫・衛生管理の徹底と生産履歴の明確化により、安全で安心な伊予牛「絹の味」を生産するとともに、県内消費者に向けたアピールや販路拡大に取り組むことを決めました。



松本和夫前会長あいさつ

また、総会に先立ち、優良生産者を表彰しました。受賞者は次の通りです
(敬称略・カッコ内はJA名)。
▽優良生産者Ⅱ
山下祥雄(えひめ中央)、本宮環(おちいまばり)

第45回JA愛媛養豚経営者協議会総会 生産基盤の維持確保と再生産可能な経営体質の強化を図る

JA愛媛養豚経営者協議会は、6月21日、JA愛媛で第45回総会を開催、令和6年度事業計画などが承認されました。

令和6年度は、「ふれ愛・媛ポーク」認定農場の経営安定、生産性向上、消費拡大、「系統養豚生産性向上プロジェクト班」での競争力強化と農家経営の安定化、疾病発生を防止するための個別衛生対策の実施などにつとめます。



また、総会に先立ち、優秀会員を表彰しました。受賞農場は次の通りです。
(カッコ内はJA・会社名)
▽優秀会員Ⅱ山内養豚(ひがしうわ)、伊予スワイガーデン(JA全農くみあい飼料株)

第61回JA愛媛農業機械技術指導士連絡協議会総会 農家経費削減と農機事業収支改善をはかる

JA愛媛農業機械技術指導士連絡協議会は、7月3日、伊予市のウェルピア伊予で第61回通常総会を開催し、令和6年度の取組方針などを決めました。

令和6年度は、農家とのふれあいの機会をより増やすため、個別実演・試乗会を積極的に展開、新品・中古・修理整備・部品4事業分野の体質強化と経営改善、指導士相互の情報交換と研修活動の活性化、などを決議しました。

総会後には、5メーカーから大型機械(トラクター・田植機・コンバイン)を含め、話題のバッテリー関連製品(株)やまびこジャパン)等の説明を受け、新しい製品知識の習得に努めました。



なお、総会に先立ち、農機の修理・推進において優秀な成績を修めた会員の表彰も行われました。主な受賞者は次の皆さんです(敬称略・カッコ内はJA名・会社名)。
【一般表彰】仲渡鯉貴也(周桑)、石丸祐介(おちいまばり)、岩田和徳(えひめ南)
【団体表彰】東部農機センター(えひめ中央)、宇和農機センター(株)JA東宇和サービス)

📷 (株)多田ファームの食育活動に協力

「命のありがたみ」授業を実施

7月5日(金)、大洲市立平小学校体育館にて、小学2年生と保護者を対象に、「命のありがたみ」をテーマに豚肉が食卓に届くまでの経路や、普段何気なく食べている豚肉について命をいただいているという事を少しでも感じてもらいたいとの思いで、(株)多田ファーム矢野取締役による授業が行われました。今回の授業は同小学校PTAから大洲市内に農場がある(株)多田ファームに相談があり、JA愛媛たいき・JA全農ミートフーズ(株)・JA全農えひめも協力することで、より良い授業となりました。授業を聞いた生徒は「これからは食事の前には『命をいただきます』と言います!」などの感想を述べていました。また、授業後の親子給食では「ふれ愛・媛ポーク」を使った冷しゃぶがメニューに加わり、保護者と一緒に試食しました。



(株)多田ファーム 矢野取締役の授業風景



当日の給食

📷 第25回JA愛媛米麦生産者組織協議会通常総会

トータルコスト低減による農家手取り最大化を!

JA愛媛米麦生産者組織協議会は、7月16日、JA愛媛で、「第25回JA愛媛米麦生産者組織協議会通常総会」を開きました。

総会には、会員17人の他、県やJA等関係者約40人が出席し、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画・予算計画等を審議し、承認されました。

令和5年度は、愛媛県米麦振興協会などの関係機関と連携し、「売れる米づくり」に向けた取り組みをすすめ、品質面では、「にこまる」「ヒノヒカリ」の2品種で「特A」の評価を獲得し、愛



媛県では初めて2年連続、2品種同時評価の獲得となりました。

令和5年産の二麦種合計の作付面積は1,875ha、収穫量は6,470トンと元年産から5年連続の豊作となり、はだか麦は37年連続生産量日本一となりました。

📷 令和5年産冬春野菜出荷反省会・生産対策会

愛媛野菜の生産基盤強化、対面型消費宣伝活動の拡充

7月9日(火)、JA愛媛別館にて「令和5年産冬春野菜出荷反省会・生産対策会」が行われました。会議にはJA関係者・各品目の県部会長をはじめ、地元・関東・関西の青果会社、愛媛県関係者、およびJA全農えひめなどが参加し、令和5年産の販売実績、目標単価クリアに向けた取り組み、消費宣伝活動、生産基本方針総括などを報告しました。また、その他報告事項として、枝豆・レタス・白ネギのモデル実証結果、肥料農薬情勢報告、物流2024年問題への対応も報告しました。

令和6年度販売促進事業計画についても、



販売促進・消費宣伝活動の拡充、関係各所と連携した広報宣伝・産地PR活動の拡大、夏秋野菜販売対策会議を開催する旨の報告もしました。また、全体会に続き、品目別の分科会も行われ、令和5年産の総括及び次年度対策等について協議がなされました。

令和6年度愛媛県民間流通地方連絡協議会

県産麦の品質向上・安定生産にむけて

J A全農えひめ米穀課は、7月16日にJ A愛媛で愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、令和6年度愛媛県民間流通地方連絡協議会を開催しました。

会議には、精麦や製粉、醤油・

味噌関連の実需者18人・生産者・

J A・県関係者ら37人が出席。愛

媛県産はだか麦、小麦の安定した収量確保・品質向上・異物混入防止、生産者所得の向上を図るための取組方針や契約に係わる単収の考え方などについて協議しました。

37年連続生産量日本一を誇る愛

媛県産はだか麦の令和7年産販売（生産）予定数量は、5,333トン。対して実需者からの購入希望数量は5,845トン。

令和7年産小麦については、販売予定数量1,395トン。購入希望数量は1,370トンとなっています。

今後、更なる愛媛県産麦の需給改善と安定供給に向けて、実需者・J Aグループ・行政等の関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。



令和6年度愛媛県TAC・出向く活動パワーアップ大会

最優秀賞にJ Aおちいまばりの矢野翔平さん

J A全農えひめは、7月17日、令和6年度「TAC・出向く活動パワーアップ大会」をJ A愛媛で開催しました。

県内J AのTAC関係者ら約50人が参加し、7J A7名のTAC担当者が「地域農業の負託に応える出向く活動基盤の強化」「生産・経営支援を通じた担い手の所得増大と生産基盤の維持・発展」「食料安全保障の強化に資する『食』と『農』への貢献」をテーマに、1人15分で活動事例を発表しました。

最優秀賞は、J Aおちいまばり営農指導課の矢野翔平さんが受賞。「柑橘栽培のドローン

活用」持続可能な生産振興に向けて」と題し、夏場の高温期における防除作業にかかる労力軽減を目的に、柑橘ドローン防除試験を3つの園地で実施。それぞれ課題を持っていた農家さんから「防除が楽になった」「労力を他の園地に集中出来た」「一人で作業し、園

地もバラバラで困っていたが防除が出来てよかった」などの賛同意見を直接担い手から伝えてもらい、導入へ向けてのさらなる活動を進めていることが評価されました。

優秀賞は、J Aえひめ未来営農振興課、斉藤優太さんの「新規就農者による白ねぎ周年栽培について」とJ Aえひめ中央東部営農支援センター、大本祐輔さんの「施設伊予ナス栽培での天敵利用について」の2名が選ばれました。今後さらなるTAC活動のレベルアップが期待されます。



(左から) 優秀賞の大本さん、最優秀賞の矢野さん、優秀賞の斉藤さん

農の風景 ー応援！農業人ー

35歳の若さでお父さんの大けがで就農は大変ですが、素晴らしい事だと思います。周囲の応援のもと頑張つて欲しいです。

(八幡浜市・PN：浜のエンジェルさん)

㊦インタビュー時の北川さんは、終始笑顔でご対応いただき、とても明るい方だなという印象でした。応援！農業人の企画6回目で初めて女性農業人の方への取材となりました！今後の北川さんにも注目です。

LPガス事業について

年齢を重ねてくると、アツと思う事が多々あります。ピピッとお知らせしてくれる、お知らせ音に何度助けられたことか。24時間365日見守りサービスに感謝です。

(八幡浜市・PN：あぐりさん)

㊦クミアイプロパンをご利用いただき、ありがとうございます！近い将来には、90%を超える普及を目指して頑張つて参ります。引き続き、クミアイプロパンをよろしくお願いいたします！

ふるさとESSAY

いつも中岡さんのテレビ等楽しく見させてもらっています。野菜との触れ合い方を今回教えて頂いた気がします。私は野菜が大好きなので、これからも感謝しながら食べていきます。

(松山市・PN：オッキーさん)

㊦中岡さんの仰っている「食卓に並ぶ食材へは感謝を。筆者の場合、その対象は農家さんである」という気持ち。JA全農えひめもその気持ちを忘れることなく、消費拡大に取り組みます。

NOW NOW COOKING

いつも美味しい料理、教えて頂きありがとうございます。料理が上手ではないので、とても助かります。これからもよろしくお願いします。

(松山市・PN：K子さん)

㊦6-7月号の素材は「タマネギ」。1年中食べられる万能野菜です。

選び方のポイントは

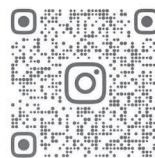
- ・しっかりと首がしまっており、頭を押しても凹まないもの。
- ・ずっしりと重みがあるもの。

・皮に傷がなくて、乾いてもツヤがあるもの。

是非、スーパーなどで意識してみてください。

JA全農えひめ 公式Instagram

愛媛県内の農畜産物、本会の取り組み、イベント情報など随時更新しております！ぜひ、フォロー＆いいねをお願いします！



@ZENNOH_EHIME

編集後記

先日、初となる甥っ子に会うため、東京へ行ってきました。とにかく可愛くて仕方ありませんでした！きゃっきゃと笑う声、えくぼもしっかりあり、とにかく可愛かったです(2回目)。姉が母になっていることにも感慨深いものを感じました。少しでも何かをしてあげたいと思い、晩御飯を作りました。そのうちの一つは、今回のクッキングにある【なすのユッケ風】を作りました。簡単に作れて、姉と義理の兄に好評でした！皆さんも夏野菜を食べて、暑い夏を乗り越えましょう！

(彩恵)

今月のクイズ

8-9月号の特集のテーマは？

「〇〇〇〇〇一体運営」の状況について

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を5名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2024年9月20日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」10-11月号で発表します。

当選者発表

6-7月号の答えは「㊦㊧㊨㊩㊪デー」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の5人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

みくりんさん(松山市)
みつばちさん(伊予市)
伊達さん(内子町)
のもびょんさん(松前町)
つくしさん(今治市)

NOW NOW

COOKING

今月の素材

なす



鮮度の目安は、皮はつるりとハリがあり
ガクはとがって、トゲが刺さると痛いほど

▶(上) なすの丸ごとオープン焼き、(右) なすのユッケ風、(左) なす南蛮



指導／愛媛調理製菓専門学校

なす南蛮

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約110kcal

なす	2本
卵	1個
片栗粉	適量
酢	30cc
① 醤油	20cc
砂糖	20g
タルタルソース	適量
青ネギ(小口切り)	適量
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ① なすを一口大にカットし、溶き卵と片栗粉をつけて、180℃の油でカリッと揚げます。
- ② ①を合わせひと沸かしして、①をサッとくぐらせる。
- ③ 器になすを盛り、①のたれを回しかけ、タルタルソースをのせ、青ネギを散らし完成。

なすの丸ごとオープン焼き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約130kcal

なす	2本
ミートソース	200g
チーズ	80g
塩	適量
こしょう	適量
パセリ(みじん切り)	適量

〈作り方〉

- ① なすを縦半分にカットし、中をスプーンでくり抜く。
- ② ①に軽く塩・こしょうし、くりぬいた部分にミートソースを詰め、チーズをのせる。
- ③ 180℃のオーブンで10分程度焼き、なすに火が通り、焼き色がつけばパセリを振り完成。

なすのユッケ風

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約42kcal

なす	2本
卵黄	1個
① コチュジャン	大さじ1
ごま油	小さじ1
塩	適量
青ネギ(小口切り)	適量
ごま	適量
もみ海苔	適量

〈作り方〉

- ① なすをアルミホイルで包みオープンで焼き、火が通れば皮をむき、細長くカットする。
- ② ①に①を絡め、塩で味を調える。
- ③ ②を器に盛りつけて卵黄をのせ、ごまと青ネギをのせて、海苔を散らし完成。



POM

ギュっと

丸搾り
みかん

みかん果皮の風味が感じられる丸搾り果汁
&
みかんの細かく砕かれた果肉を集めてできたコク出し果汁



2種の
搾り方が異なる
うんしゅうみかん
果汁をブレンド



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 0120-591-516 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>



うまい新米!
大盤振る舞い!

合計450名様に当たる!

STU48 中村舞

新米大感謝祭

秋のひめライス

応募期間：令和6年9月1日(日)～10月31日(木)

A
コース

伊予牛「絹の味」
焼肉用
(300g)



25名様

B
コース

ふれ愛・媛ポーク
しゃぶしゃぶ用
(500g)



25名様

C
コース

紅まどんな
(秀品2Lサイズ
12玉)



25名様

D
コース

たまご
「媛の愛(めぐみ)」
MSLサイズ
(30個入り)
(※内訳：特選5個)



35名様

E
コース

伊予牛「絹の味」
ビーフカレー
(180g×5個入)



40名様

W
チャンス

令和6年産新米
ひめの凛
ハイクオリティ
(2kg)



300名様

※賞品のイメージや調理例が一部含まれています。※賞品は写真と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

同時開催

象印のSTAN炊飯ジャーが当たる!!
Instagramフォロー&いいねキャンペーン




STAN 炊飯ジャー NW-SA10 BA (ブラック)

主催／株式会社 ひめライス

TEL.089-960-3331

お問い合わせ期限：令和6年11月29日まで
受付時間：10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

キャンペーン内容はホームページからご覧いただけます。
<https://www.himerice.jp> [ひめライス] 特設